

《講師紹介》

【講師兼ファシリテーター】

森田 朝子 氏

一般財団法人在宅ケアもの・こと・思い研究所 専務理事・事務局長・看護師

虎ノ門病院、国立大学法人東京医科歯科大学医学部附属病院の入院病棟および研究室に勤務。その後、開発途上国駐在勤務（外務省ODA保健医療事業等に従事）を経て帰国。保健経営学修士号取得。長崎大学医学部熱帯医学研究所熱帯医学研修課程修了。2013年から医工連携推進事業に携わる。2016年公益財団法人日本訪問看護財団事業部在籍。2017年3月同団退職し、同年4月から現所属。

【講師】

澤 幸広 氏

千葉県在宅サービス事業者協議会 副会長
株式会社NOV E 1（ノーヴェル）代表取締役

経歴：

日本体育大学 体育学部 卒業 1985年
非常勤講師として、富山県立高岡商業高等学校・高岡女子高等学校で半年勤務
大和リース株式会社 入社 1985年10月
東京支店営業2課・千葉支店営業2課・つくば出張所所長・松本営業所所長・長野冬季オリンピックPJリーダー
長野冬季オリンピック組織員会 出向（4年）
セルフケアハウス事業部 事業部長代行
株式会社日本ケアサプライ 入社 2001年3月入社
営業本部課長・北越ブロック長・事業統括部長・東関東ブロック長・首都圏ブロック長
株式会社グリーンケア芳珠 代表取締役社長
株式会社グリーンケアサービス 営業部長
グリーンケアヴィレッジ株式会社 代表取締役社長
株式会社ケアサービス伊東 専務取締役 介護事業部部長 2014年3月就任
練馬区介護保険 運営協議会 委員 2015年6月～2017年3月
練馬区障害者地域自立支援協議会 委員 2015年6月～2017年3月
千葉県在宅サービス事業者協議会 副会長 2018年6月～
NPO法人 流山ユー・アイネット 相談役 2016年6月～
有限会社オーケーサービス 取締役 2017年4月～

【講師】

今井 裕平 氏

一般財団法人在宅ケアもの・こと・思い研究所 事業デザインディレクター

大阪府堺市出身。神戸大学大学院修了後、安井建築設計事務所、IBCS（現日本 IBM）を経て、電通コンサルティングにて企業の成長戦略にフォーカスしたコンサルタント業務に従事。在職中に企業のフラグシップ開発を支援する kenma Inc. を設立し、2016年11月より代表取締役。2016年度東京ビジネスデザインアワード優秀賞。受賞をきっかけに事業化したウェアラブル・メモ「wemo」は国内外のメディアに取り上げられ、現在もフラグシップデザイナーとして本事業の拡大に携わる。東京都中小企業振興公社ビジネスデザイン相談員等兼務。

【講師】

長田 和浩 氏

株式会社ジェイ・エム・エス ME技術研究室

広島大学工学部第一類設計工学課程修了。

2001年から株式会社ジェイ・エム・エスに勤務。ME機器(※)開発部門に所属し、多人数用透析液供給装置・粉末溶解装置・透析用水処理装置・携帯型輸液ポンプの開発に従事。

本年度から現在の部署となり、ME機器の要素技術研究及び日本の透析システムの中国輸出関連業務に従事。

※Medical Engineering（医用工学）の頭文字を取った略称。学技術を応用して開発された医療機器。

【コメンテーター】

田中 勇次郎 氏

一般財団法人在宅ケアもの・こと・思い研究所 主席研究員・作業療法士

一般社団法人東京都作業療法士会会長。1974年から臨床現場に従事し、80年から東京都立神経病院リハビリテーション科で神経難病などの進行性疾患等の作業療法に取り組む。療養生活における活動性の維持に欠かせない用具類にパソコン等のITを全国に先駆けて導入し、在宅ケアにおけるICT（インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー）の活用を実践してきた。2018年4月から現所属。東京YMCA医療福祉専門学校作業療法学科教員、帝京科学大学講師、東京都多摩府中保健所難病相談員等兼務。編著「作業療法士が行うIT活用支援」（医歯薬出版 2011）、監修「重度障害者用 意思伝達装置操作スイッチ 適合マニュアル」（三輪書店 2016）、編著「神経難病領域のリハビリテーション実践アプローチ」（メジカルビュー社 2015）等。